

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	特発性肺線維症急性増悪に対する各種治療の有効性:過去起点コホート研究
研究責任者	猪俣 稔
研究機関名	日本赤十字社医療センター 呼吸器内科
研究目的と意義	特発性肺線維症急性増悪と診断され、入院加療を受けられた患者さんを対象に、各種治療方法の違いが予後にどのように影響するかを明らかにすることを目的とした研究です。
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる患者様</li> <li>2016年1月1日から2019年2月28日の期間に、特発性肺線維症急性増悪の診断で入院加療された方</li> <li>・利用または提供する資料・情報の項目</li> <li>情報:病歴、治療歴、各種検査結果、転帰 等</li> <li>試料:胸部CT画像</li> <li>・研究に用いる資料・情報の利用目的・利用方法</li> <li>電子カルテから患者さんの年齢、性別、入院時の検査結果、治療方法、胸部CT所見、予後データをデータとして使用させていただき、各種治療と予後の関係を調査します。CT画像をCT所見の読影のため関西労災病院および久留米大学放射線科へ提供します。読影後は破棄いたします。また対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。</li> <li>この研究へのご参加をご希望されない方は下記までご連絡ください。ご参加されない場合でも特に不利益を被ることはありません。</li> </ul>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 呼吸器内科  〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22  担当者:猪俣 稔  TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604</p>